

□ 保健福祉学部 保健福祉学科作業療法学コース（令和8年度入学生）

	授業科目の名称	配当 年次	開講期		単位数			授業 時間数	担当教員 ( )は学外講師 ☆マークは代表教員	備 考
			前期	後期	必修	選択	要件外			
初 年 次 導 入	大学基礎セミナー	1	●		1			30	☆田中睦・山中・渡辺・上野・小野・古屋・今川・永野・吉田・崔	2単位以上 必修2単位
	アカデミック・ライティング	1	●		1			30	☆小澤・岡田淳・井上・中垣・岡村・岩崎・織田・長谷川純・勝見・吉田	
	クリティカル・シンキング	1		●		1		30	☆金指・田口勝・加藤・増本・佐藤勇・久野・池内・古屋・米倉・伊藤	
外 国 語	英語基礎	1	○				1	30	河村	卒業要件外  6単位以上 必修4単位 選択2単位以上  中国語・韓国語・ドイツ語は各言語の母語話者、及び授業の目標・内容を上回る事が明らかなレベルの言語能力を履修登録時にすでに有する者の受講は認めない。  アカデミック日本語Ⅰ・Ⅱは外国人留学生のみ履修可、集中講義
	英語総合Ⅰ	1	○		1			30	高島	
	英語総合Ⅱ	1		○	1			30	本岡	
	英語総合Ⅲ	2	○			1		30	本岡	
	英語総合Ⅳ	2		○		1		30	高島	
	英語表現Ⅰ	1	○		1			30	岩崎・(マコート)	
	英語表現Ⅱ	1		○	1			30	岩崎・(マコート)	
	英語表現Ⅲ	2	○			1		30	岩崎・(マコート)	
	英語表現Ⅳ	2		○		1		30	岩崎・(マコート)	
	中国語Ⅰ	1・2		●		1		30	(徐)	
	中国語Ⅱ	1・2		●		1		30	(徐)	
	韓国語Ⅰ	1・2	●			1		30	(鞠)	
	韓国語Ⅱ	1・2		●		1		30	(鞠)	
	ドイツ語Ⅰ	1・2	○			1		30	(小田)	
ドイツ語Ⅱ	1・2		○		1		30	(小田)		
アカデミック日本語Ⅰ	1・2	○			1		30	中石		
アカデミック日本語Ⅱ	1・2		○		1		30	中石		
ス ポ ー ツ	スポーツ実技Ⅰ	1	●		1			30	(弘中)・(武藤)・(村上)	1単位以上 必修1単位
	スポーツ実技Ⅱ	2		●		1		30	(武藤)	
	保健体育理論	2		●		2		30	(武藤)	
学 際 知	哲学	1・2・3・4	○			2		30	大草	6単位以上 選択6単位以上  家族社会学 令和8年度のみ非開講
	文学	1・2・3・4	○			2		30	福田	
	芸術	1・2・3・4		○		2		30	(佐々木悠)	
	心理学	1・2・3・4		○		2		30	古屋	
	社会学	1・2・3・4	○			2		30	(吉田耕)	
	歴史学	1・2・3・4	○			2		30	岡本	
	倫理学	1・2・3・4		○		2		30	大草	
	経済学	1・2・3・4	○			2		30	山根	
	科学史	1・2・3・4	○			2		30	☆村田、馬本、尾崎、福永、八木、米村、岩田、小林、長尾、吉野、松崎	
	生命倫理	1・2・3・4	○			2		30	☆古山・(吉川ひ)	
	家族社会学	1・2・3・4		○		2		30	澤田	
	文化人類学	1・2・3・4	○			2		30	上水流	
	日本国憲法	1・2・3・4	○			2		30	岡田高	
	食と健康	1・2・3・4		○		2		30	長尾	
	いのちと科学	1・2・3・4	○			2		30	加藤	
	環境と科学	1・2・3・4	○			2		30	☆内藤、川辺	
	生活に役立つ力学	1・2・3・4	○			2		30	(吉野)	
地域社会と言語	1・2・3・4		○		2		30	小川俊		
ヒトの動きを学ぶ運動学	1・2・3・4	○			2		30	金井、長谷川正、岡村		
免疫と感染	1・2・3・4		○		2		30	菅井		
数 理 ・ デ ジ タ ル	ICTリテラシー	1	●		1			30	飯田	5単位以上 必修5単位
	データサイエンス	1		○	2			30	野呂	
	情報社会と法	1・2・3・4		○		2		30	岡田高	
	基礎数学	1・2・3・4		○		2		30	岩田	
	統計入門	1・2・3・4		○		2		30	飯田	
地 域 課 題	国際社会の理解	2・3・4		○		2		30	☆上水流、岡田高、村上、柳下、手島	2単位以上 選択2単位以上
	地域情報発信論	2・3・4	○			2		30	☆広谷、藤井宣、吉田	
	地域教養ゼミナールA（エリア型）	2・3・4	○	○		2		30	担当教員	
	地域教養ゼミナールB（テーマ型）	2・3・4	○	○		2		30	担当教員	
	地域教養ゼミナールC（複合型）	2・3・4	○	○		2		30	担当教員	
キ ャ リ ア 開 発	キャリアビジョン（デベロップメント）	2・3・4	○			2		30	原田淳	2単位以上 選択2単位以上
	ライフデザイン	2・3・4	○			2		30	☆岡田高、田中聡子、村上、川畑	
	ボランティア	2・3・4	○			2		30	手島	
	インターンシップ	2・3・4		○		2		30	原田淳	
	リーダー論	2・3・4	○			2		30	☆原田淳、吉永	
ダ イ バ ー シ テ ィ	多様性理解（ジェンダー論）	2・3・4		○		2		30	松高	2単位以上 選択2単位以上
	人間関係論	2・3・4		○		2		30	勝見	
	人権論	2・3・4		○		2		30	岡田高	
	世界の宗教	2・3・4		○		2		30	☆上水流、工藤、目黒	
	世界の言語と文化	1・2・3・4		○		2		30	☆河村、馬本	
	海外研修	1・2・3・4	認定	認定		2		30	本岡・高島	
全学共通教育科目選択（上記の科目から選択） ※この他20ページ「全学共通教育科目選択」に記載のものも全学共通教育科目選択とすることができる。										4単位以上
小計（A）						30				30単位以上

□ 保健福祉学部 保健福祉学科作業療法学コース（令和8年度入学生）

	授業科目の名称	配当 年次	開講期		単位数			授業 時間数	担当教員 ( )は学外講師 ☆マークは代表教員	備 考	
			前期	後期	必修	選択	要件外				
人間と社会生活の に関する科目	科学と医学	1	●		1			15	田口重、藤巻、森、山下	必修4単位	
	解剖学概論	1	●		1			15	田口勝		
	生理学概論	1	●		1			15	森		
	微生物と人間	1		●		1		15	加藤		
	人間発達学	1		●	1			15	山下		
	発達心理学	1	●			1		15	古屋		
	生活環境科学	2	●			1		15	吉田		
	福祉と社会問題	2	●			1		15	梶原、田中聡子、松宮、朝比奈		
	小計 (B)					4					4単位以上
	地域包括ケアシ ステムを 発展さ せる科目	保健福祉概論	1	●		1			15		田中睦、田中聡、渡辺、坊岡、金子、森、増本
保健医療福祉行政論		3	●			1		15	菅井		
地域包括ケアシステム論		2		●	1			15	金子、俵、積山		
チーム医療福祉論		1	●		1			15	渡辺・梅井・三木・津田・永野		
チーム医療福祉演習		4		○	1			30	越智ほか		
小計 (C)					4				4単位以上		
専門領域理解の基礎となる科目	医用画像学	3	●		1			15	飯田	必修23単位	
	解剖学（運動特論演習）	1		○	1			30	田口勝、加藤		
	解剖学実習	2	○		2			90	田口勝、加藤		
	中枢神経機能学	3	●		1			15	森、藤巻、田口勝		
	臨床心理学	1		●		1		15	勝見		
	医療行動科学	2	●			1		15	細羽		
	公衆衛生学	2		●		1		15	菅井		
	生化学	1		●		1		15	加藤		
	病理学	1		●	1			15	(伊藤)		
	薬理学	2	●		1			15	(柳瀬)		
	生体機能学	1	●		1			15	森		
	神経生理学	1		●	1			15	森		
	生理学実習	2	○		1			45	森・加藤・金指・佐藤勇・池内・坂本		
	臨床栄養学	1		●	1			15	(瀬尾)		
	内科学	2	●		1			15	(奥崎)		
	神経内科学Ⅰ	2		●	1			15	森、(田尻)		
	神経内科学Ⅱ	2		●	1			15	森、(田尻)		
	精神医学Ⅰ	2	●		1			15	藤巻		
	精神医学Ⅱ	2		●	1			15	藤巻		
	小児科学	2		●	1			15	山下		
	整形外科Ⅰ	2	●		1			15	(河野)		
	整形外科Ⅱ	2		●	1			15	(河野)		
	リハビリテーション医学	2		●	1			15	(三上)(越智)		
	医療安全学	2		●	1			15	田口重		
	救急医療	2		●	1			15	(武田)		
エンドオブライフ・ケア	3	●			1		15	渡辺、田中聡			
福祉住環境論	2		●		1		15	吉田			
保健医療福祉関係法規	1	●		1			15	西田、岡田ゆ、細川、越智			
小計 (D)					23				23単位以上		
合計 (A+B+C+D)					61				61単位以上		
科学基礎	運動学	2	●		1			15	久野、池内	必修2単位	
	運動学実習	2		○	1			45	久野・池内		
	計（履修方法・卒業要件）				2						
基礎作業療法学	作業療法学概論	1	●		1			15	古山・三木	必修8単位	
	作業科学	1	●		1			15	高木・三木		
	作業科学実習Ⅰ	1		○	1			45	今元・織田・古山		
	作業科学実習Ⅱ	2	○		1			45	高木・坂本		
	作業療法倫理学	2	●		1			15	三木・坂本		
	作業療法研究法	3	●		1			15	三木・西田・坂本		
	作業療法理論	3		●	1			15	三木・高木		
	作業療法管理学	3		●	1			15	助川		
計（履修方法・卒業要件）					8						
作業療法評価学	作業療法評価学	2		●	1			15	古山・三木	必修5単位	
	身体障害評価学演習	2		○	1			30	池内・西田		
	発達障害評価学	2		●	1			15	増田・助川		
	精神障害評価学	3	●		1			15	織田・今元		
	作業療法評価学実習	3		○	1			45	田中睦・森・坂本・三木		
計（履修方法・卒業要件）					5						

□ 保健福祉学部 保健福祉学科作業療法学コース（令和8年度入学生）

	授業科目の名称	配当 年次	開講期		単位数			授業 時間数	担当教員 ( )は学外講師 ☆マークは代表教員	備 考	
			前期	後期	必修	選択	要件外				
授 業 科 目 の 概 要	作業療法学	身体障害治療学Ⅰ	3	●		1			15	西田、池内	必修18単位 選択2単位以上
		身体障害治療学Ⅱ	3	●		1			15	久野、池内	
		身体障害治療学Ⅲ	3	●		1			15	池内、西田	
		身体障害治療学演習	3		●	1			30	西田・池内	
		精神障害治療学Ⅰ	2		●	1			15	織田・今元	
		精神障害治療学Ⅱ	3	●		1			15	織田・今元	
		精神障害治療学演習	3	○		1			30	織田・今元	
		精神障害治療学実習	3		○	1			45	織田・今元	
		認知障害治療学	3	●		1			15	久野、田中睦	
		認知障害治療学演習	3		○	1			30	田中睦、久野	
		発達障害治療学Ⅰ	3	●		1			15	助川・増田	
		発達障害治療学Ⅱ	3	●		1			15	助川・増田	
		発達障害治療学実習	3		○	1			45	助川・増田	
		老年期障害治療学	3	●		1			15	西田・坂本・三木	
		福祉機器論	3	●		1			15	西田	
		福祉機器論演習	3		○	1			30	田中睦・西田	
		遂行分析学	2		●	1			15	古山	
		感覚統合療法特論	3	●			1		15	助川・増田	
		音楽療法概論	3		●		1		15	(上羽)	
		作業療法特論	3		●		1		15	高木・田中睦	
作業療法総合演習	4		○	1			30	助川、今元、古山、西田、久野、 藤巻、森、山下、織田、高木、田 中睦、三木、池内、坂本、増田			
計（履修方法・卒業要件）					20						
療 法 学	地域作業 療法	地域作業療法学	3	●		1			15	高木・田中睦	必修4単位
		地域作業療法学実習	3		○	1			45	田中睦・高木	
		日常生活援助論	3	●		1			15	古山	
		職業生活援助論	3		●	1			15	助川・織田	
		計（履修方法・卒業要件）					4				
臨 床 実 習	臨床実習	基礎臨床実習Ⅰ	1		○	1			45	助川・坂本	必修22単位
		基礎臨床実習Ⅱ	2		○	2			90	高木・増田	
		評価臨床実習	3		○	3			135	池内・古山・西田・久野・織田・ 高木・助川・田中睦・三木・今 元・坂本・増田	
		総合臨床実習Ⅰ	4	○		8			360	田中睦・久野・織田・今元・古 山・西田・高木・助川・三木・池 内・坂本・増田	
		総合臨床実習Ⅱ	4	○		8			360	久野・織田・田中睦・今元・古 山・西田・高木・助川・三木・池 内・坂本・増田	
		計（履修方法・卒業要件）					22				
研 究	研究	卒業研究	4		○		2		60	古山・久野・藤巻・西田・森・山 下・織田・助川・高木・田中睦・ 三木・坂本・池内・増田・今元	選択2単位以上
		地域課題解決研究	4		○		2		60		
		計（履修方法・卒業要件）					2				
小計						63				63単位以上修得	
総合計						124				124単位以上修得	

履修制限について

保健福祉学部履修要領により、総合臨床実習Ⅰ及び総合臨床実習Ⅱの履修は、次の要件を満たしていることを履修の条件とする。

全学共通教育科目、人間と社会生活の理解に関する科目、地域包括ケアシステムを発展させる科目、専門領域理解の基礎となる科目及び専門領域特有の科目の1年次から3年次までの必修科目の単位をすべて修得していること。